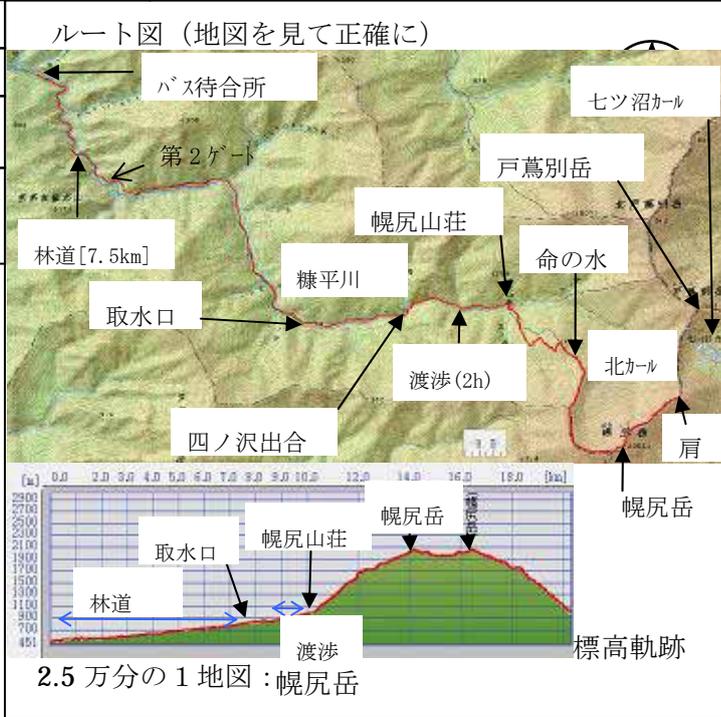


08月度 例会 個人 山行報告書		報告者	神戸和広	参加 メンバー	CL: 岸上 SL: 神戸 津田、杉本
		報告日	09/12		
山域	北海道日高山脈	山行日	12年 08月 15日(水)~16		
山名	幌尻岳		日(木)		
山行目的	北海道の百名山を楽しむ		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先  
集会: 12  
山行: 1  
リーダー  
原紙: 集会担当者



08/15 晴れ

03:00 豊糠山荘バス発

04:00 バス待合所発(500m)

05:00 一本 (640m)

06:00 一本 取水口(770m)

06:40-55 四ノ沢出合  
溪流タビに履替え

07:15 一本 (860m)

08:05-20 一本 幌尻山荘  
登山靴に履替え、荷物  
デポ(975m)

09:20 一本 (1430m)

09:45 一本 命の水  
(1570m)

10:45 一本 (1880m)

11:20-40 一本 幌尻山頂  
(2052.8m)

12:00 肩で折返(1940m)

12:40 一本 幌尻山頂

13:55 一本 命の水

14:50 幌尻山荘着

08/16 雨

04:25 幌尻山荘発

05:50 四ノ沢通過

06:25 一本 取水口

08:00 バス待合所着

08:30 臨時バス発

08:35 登山者ピックアップの  
為一旦引き返し

09:30 豊糠山荘着

10:20 豊糠山荘発

11:30-13:00 道の駅むかわ (温泉、昼食)

16:30 札幌駅前ホテル着

〈山行報告〉 【行動内容】 一日目の夜から雨が降るという予想から登山者たちが計画変更する中、我々も1泊に変更、一日目登頂の為にバスの時間も早めた。満天の星空の中バスは出発。バスを降り皆が出発した後、ほぼ最後尾からスタートしたが2時間の林道歩きで抜かしたのは3組だけだった。皆健脚揃いだ。予定通り沢歩き約2時間で幌尻山荘に着いたが、以前来たときに比べ、川の水位が上昇していて帰りが心配になった。天候は上々で、ハイマツ帯となつてからは日高山脈の峰々はもちろん、芦別・夕張、遠く十勝、大雪方面も眺めることもできた。頂上では明日の増水が心配で日帰り下山する方が見えたが、我々は早朝出発すればよいと考えた為、さらに肩まで進み、七つ沼を見て引き返した。気象情報では未明から温暖前線が通過し雨が降り続くとあり、我々は4時半前には出発した。すぐに先行者と合流して進んだ。行きよりはやや増水して水流も強まり、岩が見えず、深みに突っ込んで思わず手を突いたことが2回ほどあった。後に後続者には一時ザックごと流された方もいたと聞いた。何とかバス待合所に戻ると、バスの中の無線で「けが人がでたので救助要請をする」(山荘管理人も下山中だった)と聞き、ただ事ではなかったと感じた。幌尻岳は、渡渉箇所は増水時危険となると聞いていたが、急な土砂降りではないものの数時間の雨がこのような事態を招くとは想像できなかった。

【反省点】 ①計画変更: 安全を見れば日帰りすればよかったが、行動12時間以上となりバスの時間に間に合わない恐れがあった。  
②装備: ストック必須だが、好条件だった過去の私の経験談から、持たない人がいた。また私はメッシュシューズで歩き通してしまい、壊れる可能性があった。  
③沢歩き: 事前に練習したかったが、そういう機会を作らなかった。



確認  
(リーダー)  
岸  
12/08/26  
上  
作成  
(報告者)  
神  
12/08/20  
戸

〈リーダー所見〉  
前日の天気予報を見ると、2日目から天気が崩れる予報。安全優先で1日短縮して2日目は下山のみの予定に変更した。振り返ってみるとベターの判断だった。安全を最優先すると、日帰りにする、もしくは行かないという判断もあった。天候不安定時の判断は大変難しいことを痛感させられた。あと、CLは山行を重ねて、経験を積んでいくことが重要だと感じた。

